

ここに注目！ **ポイントカードの端数を地域の非営利団体に寄付、
団体間ネットワークの形成で、地域を活性化する。**



ポイント

平成13年から「地域と生活に密着」をコンセプトにポイントカード「タメ点カード長田」事業を実施している。

同事業の最大の特徴は、ポイントカードに付与された100円未満の端数ポイントを現金に換えて、地域の非営利団体(婦人会、学校PTA等)を指定して寄付できることで、会員数もサービス開始から4ヶ月あまりで1万人を突破した。同事業は、様々な地元の社会活動への貢献は勿論のこと、地域団体間のネットワーク形成に大きく役立っており、商店街が地域活動の核として欠かせない存在となっている。

[商店街概要及び取組の背景]

復興商店街の先駆者として

長田神社の門前商店街として大正9年頃に発祥。平成7年の阪神・淡路大震災で店舗の多くが全半壊という壊滅的な被害を受けたにもかかわらず、まちの人々の暖かい声援に支えられ、商店街の必死の努力の甲斐もあって、比較的早期の再建を実現した不屈の商店街である。近隣には複数の商店街や市場が立地し、地域からの日常の買い物客や長田神社の参拝者でにぎわう近隣型の商店街である。

一方、阪神・淡路大震災後、100店以上あった店舗数が約60店まで減少。また、隣接の競合店が独自のポイントカードを始めたため、差別化が必要であった。

[取組の概要・効果]

Plan・Do

端数ポイントの無駄をなくせ！

商店街の代表者と小売市場の代表者が幾度もポイントカードシステムの構築方法や既存カードとの差別化について議論を重ね、オーダーメイドのシステム構築を実現した。助成金の活用等によりコスト面での課題



商店街のシンボルの大鳥居

を解決した。また、ポイントカードに付与された100円未満の端数ポイントを地域の非営利団体を指定して寄付できるようにするなど、地域に貢献する仕掛けづくりを行った。

この仕組みで、ポイントの端数の無駄をなくすだけでなく、商店街と地域団体、学校等との関係づくりに大きく寄与し、その後のイベント等での連携を可能とした。

[効果の評価と改善策の実施等]

Check・Action

地域と生活に密着

「タメ点カード長田」事業は、ポイントの一部を指定する地域団体に寄付できる仕組みが顧客からの支持を受け、サービス開始から4ヶ月あまりで会員数が1万人を突破した。その後も試行錯誤を繰り返しながらシステムの改善を行い、今ではポイントの全額を指定する地域団体に寄付することも可能である。

同ポイントカード事業は長田神社前商店街のコンセプト「地域と生活に密着」を体現する地域に欠かせないカードとなっており、地域活性化に大きく貢献している。

[実施体制]

グージー瓦版会議

ポイントカード事業を実施するに際し、定期的に勉強会を開催していたが、商店街だけでなく、小売市場、ボランティア団体、婦人会、PTA、福祉協議会など地域の様々なメンバーを巻き込む情報交換会「グージー瓦版会議」として発展し、今でも月に1回の開催が継続している。これらの協力関係により、地域を巻き込んだ持続可能なイベントの実施が可能となった。



基本データ

所在地：兵庫県神戸市長田区長田町

会員数：59名

店舗数：98店舗

関連URL：<http://tameten.jp/>



端数ポイントを地域活動に寄付できる「タメ点カード長田」



キーパーソン

長田神社前商店街振興組合
理事長 五嶋 靖浩

福のあるまち長田神社前

「福のあるまち長田神社前」をコンセプトにまちのにぎわいづくりを進めています。

長田神社のおつたち詣りの日には商店街の売り出し「ぼっぺん市」をはじめ、陶芸、木工、竹細工、ガラス、織物など、いろんな作家の方が出展する「ぼっぺん工房市座」が開催されるとともに、地域の菓子屋さんがおすすめの逸品を持ち寄る「長田萬福茶屋」もサンドール北広場にオープンして長田のおつたちに華を添えています。

地域の方々との交流はカードの端数ポイントの寄付団体(グージー瓦版会議)で、地域活動の話による共通意識を持つようにしています。

地域密着型の商店街として

当長田神社前商店街はあくまで地域密着型で、地域の困り込みを目指すべく種々の事業を行っています。

その一つとして、グージーサービスLLP(有限責任事業組合)を地域の商業団体と一緒に立ち上げ、顧客とより一層きめ細かい情報のやり取りを行えるポイントカード事業を開始します。これまでの「タメ点カード長田」を更に強化し、新たな機能を持たせた新カード「萬福カード長田」の運営を開始し、地域住民の安心・安全な生活環境を守るため、なお一層綿密な情報処理を行っていきます。

また、宅配サービスにより安心した商品の提供を図るなど、地域及び住民の安心・安全を確保することで、これからもよりよく住みやすい地域を守っていきたくと考えています。